



栃木県立足利南高等学校 平成 26 年度 総合学科通信 第 3 号

No.40
(2015/3/24発行)

学校長より

総合学科教育の集大成 ～アクティブラーニングの先取り～

校長 戸叶行一

総合学科である足利南高の一年間の集大成とも言える行事である総合学科発表会が平成27年1月24日(土)に行われました。本校のPTAの方々、学校評議員さん、中学生諸君、その保護者の方、他の県立高校総合学科の先生、地域の方々にも参観していただきました。

午前中は各学年ごとに、それぞれの代表者により、1年生はライフプラン、2年生はミニ課題研究、3年生は系列ごとの課題研究の発表や被服製作発表(ファッションショー)が行われました。これらの発表はたいへんよく練られており、説明もわかりやすく、内容的にも充実していました。見事な発表もさることながら、それを聞く側の生徒達の態度もたいへん立派でした。発表する側とそれを受け取る側の協力で、一層盛り上がりました。

午後は第一体育館で器楽、声楽、ダンスの発表、フランス語のプレゼンテーションがあり、メディアホールでは社会人受講生も参加した演劇Ⅰ(現代劇)など、講座発表がありました。こちらは多数の地域の方々も鑑賞されました。また第一体育館には研究ポスターや家庭・美術・書道の作品が展示され、生徒個人個人の努力の成果が表れていました。見学者の評判も上々でした。

1月28日(水)には、メディアホールを舞台に、演劇Ⅱ(歌舞伎)の発表があり、3年生と地域の皆さんが見学しました。高校生と社会人の協力で、素晴らしい舞台となりました。

特に、総合学科3年次の課題研究は総合学科教育の集大成であり、「自ら問題や課題を見つけ、その具体的な解決方法を考え工夫し実践する力」を育成するものです。アクティブラーニングの先取りといったところでしょうか。この発表のための訓練は、将来、自分の力を頼りに社会の中で生きる皆さんの大きな心の支えになるでしょう。1・2年生の皆さんも2年後、1年後を見据えて、着実に課題研究の歩みを進めていってほしいと思います。

総合学科としての足利南高校の特色を自分なりに十分に生かし、生徒の皆さんが成長し、さらに飛躍することを期待しています。

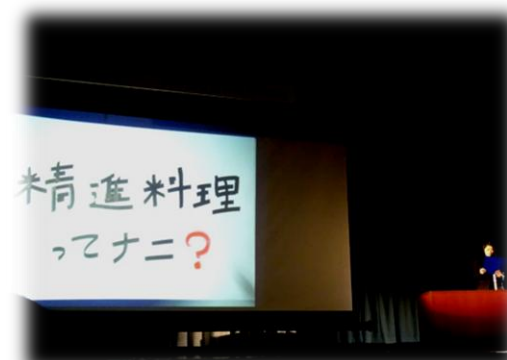
総合学科発表会

総合学科推進部長 藤谷 知仁

平成27年1月24日の土曜日に、平成26年度総合学科発表会が開催されました。1年生のライフプラン発表2名、2年生のミニ課題研究発表2名、3年生の課題研究から代表16名の発表と被服製作発表を行いました。各発表者とも研究や実技を通して分かった事や自分の考えを堂々と発表してくれました。

午後は第1体育館とメディアホールの2会場で、講座発表会を行いました。第1体育館では、美術・書道・家庭科の作品展示、音楽科の独唱や合唱・ヴァイオリン・ミュージックベルの演奏・体育科のダンスパフォーマンス・フランス語選択者によるプレゼンテーションと歌の発表を行いました。メディアホールでは、普段の授業から一般の聴講希望者と学んでいる演劇Ⅰより「春雷シシとササの伝説」という演目での現代劇が上演されました。歌あり、踊りありの劇で非常に楽しく鑑賞でき、最後の「頑張りました。」という言葉にすべてが集約されていたと好評でした。

来年度も今年度以上に素晴らしい発表会にしたいと思っていますので、多くの方々のご来場をお待ちしております



1学年主任より

「1年を振り返って」 1学年主任 野口 徳雄

15期生が入学してから、早いものでもう1年が経ちます。入学式では、真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで着席していた姿が思い出されます。今では、高校生という自覚を持ち始め、今後の生き方や進路について真剣に考え努力する様子が少しずつですが見られるようになってきました。総合学科である本校は、1年次に「産業社会と人間」という科目を毎週2時間実施してきました。その内容としては、様々な職業について知る職業ガイダンスや系統別進路ガイダンス、自分の進路にあった2、3年次の時間割作成、自分の将来の夢を文章に綴るライフプラン、グループで1つの課題について調べ研究発表を行うミニ課題研究など、この授業を通して生徒が自分自身をよく見つめ今後の進路について考えてきました。学年末に「産業社会と人間」についてのアンケートを生徒から取りました。その中で、生徒が答えてくれた意見をいくつか紹介いたします。「自分の進路について真剣に考えることができた。」「自分の夢や職業について考えるとても大切な時間だと思いました。」「様々な職業や職業観を知ることができた。」「先輩方の話を聞いて、自分はまだまだだめだと思った。」「自分の進路にきちんと向き合えたと思う。」「時間割作成では、作成した時間割がこれで良かったのかと今でも不安があります。」「高校での進路決定は将来にすごく関係することが分かった。」など、それぞれが自分の将来を考え希望や不安を抱えつつも、真剣に自分自身と向き合えたように感じます。今後は、この総合学科のよさの1つとしての進路を考え行動していく時間を、生徒と教員が一緒になって充実させていきます。



2学年主任より

「総合学習Ⅰを振り返って」 2学年主任 安塚 正史

本校では2年次に総合学習Ⅰを毎週月曜5時間目に行っています。主な学習内容は①ミニ課題研究、②修学旅行事前学習、③進路学習、④3年次の時間割見直し、⑤3年次課題研究テーマ設定等です。

- ①ミニ課題研究・・・1年次の3学期にミニ課題研究として修学旅行に関する沖縄の自然、観光、芸術、生活、食の5つのテーマからグループ研究の形式で行いました。2年次においては個人研究の形式で各自が異文化コミュニケーション、自然科学、芸術・スポーツ、情報、生活デザインの5つの系列に分かれ、興味関心のあるテーマを設定し新聞、書籍、インターネット等で調べ研究内容をクラス毎で発表しました。
- ②修学旅行事前学習・・・沖縄への事前学習として「月桃の花」の映画視聴を通しての沖縄戦や沖縄の歴史や基地問題などを学びました。
- ③進路学習・・・進路ガイダンス、進路講話、スクールインターンシップⅡなどの行事を通して進路について考えを深めることができました。
- ④3年次時間割の見直し・・・自分の希望進路を考え、1年次で決めた科目の見直しが行われました。さらに3年次では現在行われているベーシックの授業がなくなる関係で新たに科目を選び直すということも行いました。
- ⑤3年次課題研究テーマ設定・・・系列の先生方のアドバイスを受けながら3年次の課題研究のテーマを設定しました。

以上、総合学習Ⅰを踏まえ、来年度毎週木曜日⑤⑥限に行われる課題研究をよりよいものしていければと思っています。さらに、進路実現に向け充実した研究活動ができればと思います。

3年間の思い出 ～担任団より～

2015年3月2日月曜（赤口）、37期生（総合学科13期生）の卒業式が盛大に挙行され男子64名、女子120名の計184名が足利南高校を巣立っていました。

「最後の1年間、誰もかけずに、39人全員で笑って卒業しよう」という3年1組クラス目標が達成できてとても嬉しく思います。総合学科の足利南高校での3年間で、みなさんは「自分だけでしかできないこと、やらなければならないこと、他人に任せられないこと」、「いろいろなことに興味を持つことができた」、「とりあえずやってみることの大切さ」、「友達のおかげでここまでやってこられた」等を学んだり、新たに身につけたりすることができました。（総合学科アンケートより）これら3年間の体験を通して学び、身につけてきたことはこれからのみなさんの人生にきっと大いに役立っていくものと信じています。新しい世界への旅立ちを今後も見守っていきたいと思います。

健康に十二分に気をつけて「黙々と続けること」をモットーに頑張らずに頑張っていって下さい。

1組（主任） 厚木 範之



2組 渡邊 慶子



平成27年3月2日、総合学科13期生の卒業式が行われました。笑って送りだそうと思っていましたが、泣いてばかりの1日でした。式では答辞、卒業生による合唱、校歌斉唱、退場と、こみ上げてくる涙をおさえられませんでした。

生徒達と過ごした3年間は、あっという間でしたが、毎日が新鮮で充実した日々でした。高校3年間は長い人生の中でたかかかかもしれません。しかし、生徒達は自分を見つめ、自らの進路に向き合い、夢の実現に向けて努力を続けました。そして、いろいろな事を乗り越えるたびに、何をするにも一人の力ではない、沢山の人の支えがあるということに気づき、感謝の心を忘れない人間に成長しました。高校生活

で得たものは、迷った時悩んだ時きっと役立つ、正しい道に導いてくれるでしょう。

別れは寂しいものですが、人生は節目があるからこそ、次の成長があります。新たなスタート、皆さんの活躍を期待しています。

3組 五月女 雅一



3月2日、13期生卒業式、辛いことや苦しいことを乗り越え、立派にやり遂げた3年間の集大成であると感じました。生徒の顔を見ていると、数多くの思い出が浮かんできます。青南祭スポーツディなどの学校行事や、進路決定に向けて遅くまで頑張った進学・就職対策など、今となっては大変だったと思うことがたくさんありますが、これらを通して生徒が多くのことを学び、成長していく姿は素晴らしいものでした。

卒業とは、何かかが終わることだけではありません。新たな何かが始まることでもあります。一期一会という言葉があるように、一回一回の出会い、経験を大切に、何事にも、どんな人に対しても感謝の心を忘れないようにしてもらいたいものです。

卒業生の皆さん、社会に出たら、まずは妥協せず、一所懸命やってみてください。失敗して、辛い目に遭うことが自分自身の成長に繋がると思います。自分を丁寧に磨き上げましょう。自分を大切に、これからの皆さんの活躍を期待しています。

4組 長竹 康人



平成27年3月2日、足利南高校総合学科13期生184名卒業。これが、自分の教員人生2回目の卒業式となりました。大人になる上で、最低限必要なことはきちんとできるようになって卒業していった欲しい。そんな想いで日々指導し続けた3年間でした。私自身、分からないことが多く、時にみんなを不安にさせることも多かったと思いますが、それとは裏腹に、きちんと考え、行動し、こちらの期待に応えてくれたみんなに、今は感謝の気持ちでいっぱいです。3年間で人はこんなにも成長できるんだということを、改めて教えてもらいました。人生これからが本番です。足利南高校で培ったものを糧に、時に辛く苦しい社会を、時に楽しく面白い人生を、たくましく生き抜いていって下さい。高校生活3年間という輝かしい日々を、みんなと共に歩むことができて幸せでした。ありがとう。

5組 天貝 恵美



13期生の卒業式が無事に終わり、やっと今、少しずつですが実感がわいてきました。卒業式当日は実感のないまま終わってしまい、最後のHRはいつも以上に言葉が出てこなくて困りました。

卒業生を送り出すのは初めてではありませんが、その度毎に様々な経験をさせてもらうことが多く、学ぶことの多い3年間でした。卒業生の皆さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。この3年間で皆さん自身いろいろなことを考えさせられたことと思います。その中で自分で判断し、選択していくということも学んでいったのではないのでしょうか。これからも時には道に迷い、悩むこともあると思います。その時は自分自身を振り返り、未来を見据えようと自分自身の道を選択していきましょう。皆さんが進む道をずっと応援しています。皆さんと出会えて本当に幸せでした。今後はそれぞれの道で自分らしく輝いてくれることを期待しています。



発行：栃木県立足利南高等学校
TEL：0284-72-3119（事務室）
TEL：0284-72-3118（職員室）

教務部広報係
FAX：0284-73-2772